



西中島小学校 検索

校長先生からのメッセージ

本校は、昭和9年(1934年)に創立され、今年度、創立91年目を迎えます。本校では、学校教育目標「互いに思いやりを持ち、自ら挑戦する子どもを育む～知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成～」を掲げ、教育活動に取り組んでいます。児童の笑顔があふれ、学校が楽しいと思えるよう、PTA・地域とともに教育活動を進めていきたいと考えます。

● 学校運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思えますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を38%以上にする。

○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を30%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の85%以上にする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。

● 令和5年度全国学力・学習状況調査結果

※大阪府教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表しない。

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

【国語】児童が意欲的に学習に取り組むことができるような課題設定を考えることを重点にして授業づくりを行い、授業の中で自分の考えをまとめ、新たな発見ができるように進めていく。また授業の中でたくさんの本に触れることができるような言語活動を設定し、進んで読書をする子どもの育成を図っていききたい。

【算数】授業のなかで、既習事項をもとに自分の考えを発表したり、他の意見と比較させたりしながら、筋道を大切にできる子どもの育成を図っていききたい。

● 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

※大阪府教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表しない。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

昨年度は夢授業や淀川区の事業を活用し、オリンピックメダリストやダンスの講師などを招いて専門分野の技術や楽しさについて教わるのができた。今年度も様々な事業を活用して専門性を持った外部の講師を招き、運動の楽しさや体の使い方を学ぶ機会を設けたい。体育学習において一部の児童だけで進むようなことにならないような学習展開を進め、互いに教え合ったり、動きを見せ合ったりする課題解決学習を取り入れた展開を充実させる。業間にNST(西中島スポーツタイム)を実施し、各運動の基礎となる運動(遊び)に取り組み、心と体をほぐすようにしている。

「知」の育成



【ぐんぐんタイム】朝の時間や5時間目の5分間に、デジタルドリルを活用して、計算や漢字などの基礎基本の学習を進めています。



【外国語学習・英語モジュール】朝学習(水・木曜日)で1年生から英語学習を実施しています。3～6年生の英語の授業にはネイティブの先生が参加します。



【読書の推進】児童がおすすめの本を図書委員会が発表やプレゼンテーションを使って紹介することで、読書に興味をもって取り組めるように進めています。



【学習発表会と図画作品展】隔年で実施しています。一人一人が発表や演技、合奏などに取り組み、みんなで1つのものを創り上げる良さを味わいます。

「徳」の育成



異学年間の交流を充実させています。児童集会やなかよしフェスティバル、全校遠足などもたてわり班で実施し、学年を越えた仲間づくりができています。



あいさつ週間やろうか階段を正しく歩こう週間を通して、あいさつの大切さや学校のきまりを守る事の大切さを学びます。



【いじめについて考える日】には全校朝会で講話を聞き、全学年で道徳の授業を実施して、自分や友達を大切にすることを学びます。

「体」の育成



月1回程度15分休みにスポーツ集会を行い、たてわり班で交流しながら体を動かします。



トップアスリートによる「夢授業」や外部の講師を招く事業を積極的に活用して、専門性を生かした取組を進めます。昨年度は体操のメダリストやダンスの講師を招きました。



清潔しらべや健康教室を通して、児童が自分の健康について考え、心身を大切にすることを学びます。

